

096

contents

興福寺国宝展
興福寺国宝展特別展示
「萩の茶陶」「秘仏公開」
休館のおしらせ
年間スケジュール

天花

TENGE



柴田昌尚(1953-)「萩白釉窯変割貫茶碗」 1995年 山口県立美術館蔵

興福寺国宝展特別展示

郷土工芸室

「萩の茶陶」

4/12 tue ~ 5/22 sun

表紙作品解説

兼田昌尚 (1953-) 「萩白釉窯変割貫茶碗」 1995年
陶 12.8×12.6×11.7cm 山口県立美術館蔵

ごつごつして、岩のかたまりの様な形をした茶碗。「こんな形のものでお茶が飲めるのか?」と思うかもしれません。ところが、手にしてみると、意外と手にぴったりとフィットします。抹茶は飲むときに茶碗を手にとって正面からずれた場所を飲み口にしますが、このごつごつした茶碗は、ちゃんと飲み口のところは口を付けて飲みやすくなっているのです。下の高台こうだいの部分もごつごつした形になっているように見えますが、これは、萩焼では伝統的な割高台こうだいという形式のものです。

萩焼は、江戸初期に毛利氏の御用窯として開かれましたが、初期の古萩茶碗にも、同じように高台に十字に切れ目を入れた割高台茶碗があります。また、江戸時代の茶碗の中には、沓茶碗くつといって、一度ロクロで丸く成形した茶碗をゆがませた斬新な形の茶碗もあります。

こうしてみると、一見するとごつごつした「前衛的」な陶芸に見えるこの茶碗も、実は、古萩の伝統に根ざしたものといえるかもしれません。それでありながら、現代的な造形でもあり、かつ茶碗としての機能を満たしているという点で、新しい茶陶のあり方を示した茶碗といえましょう。

普通の茶碗は、ロクロで成形して造るものですが、この茶碗は土のかたまりをへうで削って中を削り貫いて成形します。作り方としては、彫刻に近いものです。作者の兼田昌尚は、かつてはロクロによる作品をつくっていましたが、1980年代後半から割貫くりぬきによる茶碗、水指、花入の制作を行い、土の塊量性豊かな茶陶を生み出しています。

白い灰釉と桃色がかかった窯変の色合いの柔らかさが、茶碗としての使い心地を増しているように見えます。

(当館学芸員 岩井共二)

752年に唐へ渡り、約30年間唯識を学んで最新の成果を手にも帰国しました。

興福寺の南、猿沢池から見上げる五重塔はまた絶景です。

(*1) 唯識 あらゆるものはただただ心のあらわれにすぎない、という仏教の世界観

(*2) 法相宗 唯識を教義とする興福寺の宗派

(*3) 康慶 運慶の異父

(*4) 定慶 康慶の弟、運慶の兄弟弟子

講演会

「興福寺鎌倉復興期のみほとけ」

興福寺の鎌倉復興で活躍した人々のドラマと仏像の魅力のお話です

休

興福寺日本展

興福寺国宝展特別展示 4/12~5/22

郷土工芸室

「萩の茶陶」4/12~5/22

「一茶二萩三唐津」と古くから言われるように、萩焼は、その柔らかい肌合いから、茶人たちに珍重され、茶陶として高く評価されてきました。江戸時代に萩藩の御用窯としてはじまる古萩の名品から、歴史と伝統に根ざした新しい茶陶を目指す現代の作家たちの作品まで、400年にわたる萩の茶陶を紹介します。

萩井戸形茶碗
江戸時代前期
山口県立美術館蔵

小林和作室・資料展示室

「秘仏公開 一山陽小野田市
岩崎寺・正法寺の仏像」4/12~5/22

厚狭郡山陽町と小野田市は、平成17年3月22日に山陽小野田市となりました。このたび公開される仏像は、同市にある岩崎寺(旧小野田市)と正法寺(旧山陽町)に秘仏として伝えられてきた仏像で、山口県指定文化財となっております。どちらも寺の観音堂本尊の秘仏でありましたが、正法寺は平成11年(1999)の台風18号、岩崎寺は平成16年(2004)の台風18号により、観音堂が損壊し、文化財避難のため、当館に寄託されることになったものです。

このたびは、興福寺国宝展にあわせて、普段見ることの出来ない秘仏をふくむ平安から鎌倉時代までの仏像7体を特別に公開します。

木造阿弥陀如来坐像
平安時代 12世紀
山陽小野田市・岩崎寺蔵

休館のお知らせ

興福寺国宝展終了後5月23日から2006年3月末まで、山口県立美術館は空調設備の改修工事のため休館いたします。休館中はリニューアルオープンのための展覧会の準備や学校への出前授業などの活動を進める予定です。2006年4月の展覧会にご期待ください。

なお、休館中も実技講座、先生のための講座などは実施いたします。詳しい情報は美術館のホームページや「天花」をご覧ください。2005年度の県美展については次号「天花」97号でご案内する予定です。

曼荼羅図 興福寺

重要文化財 京都国立博物館所蔵
前期(4、12、15、17)のみの展示になります。

鎌倉復興期ころの
興福寺のお堂と仏像が
描かれています。
今回、山口県立美術館で
会うことができる
仏像をクローズアップ
してみました。

奈良といえば鹿。
さて何頭いるでしょう？



無執着

北
巴
堂

無著菩薩立像

運慶作 国宝

4～5世紀インドの高僧。弥勒菩薩から唯識¹の教えを学び、法相宗²の基礎をききました。本名:アサング。運慶が作った最高傑作です。



北
巴
堂

世親菩薩立像

運慶作 国宝

兄・無著の影響で唯識¹を学び始め、この学問をまとめあげました。本名:ヴァスバンダク。兄弟ともにインド人ですが、日本人の外見で作られています。



阿!

西
金
堂

金剛力士立像 阿形

国宝

仏さまの守護神で、阿阼^{あざん}の二人がお寺やお堂の入口に立っています。怒りの形相で口を開けるのが阿形です。

南
巴
堂

法相六祖坐像

康慶³作 国宝

興福寺ゆかりの高僧6人の肖像。

善珠

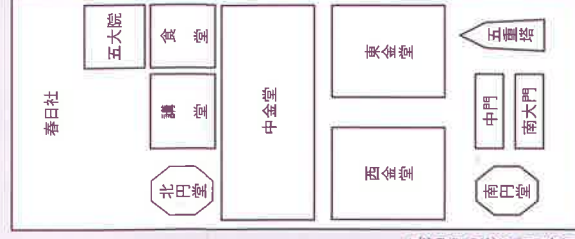
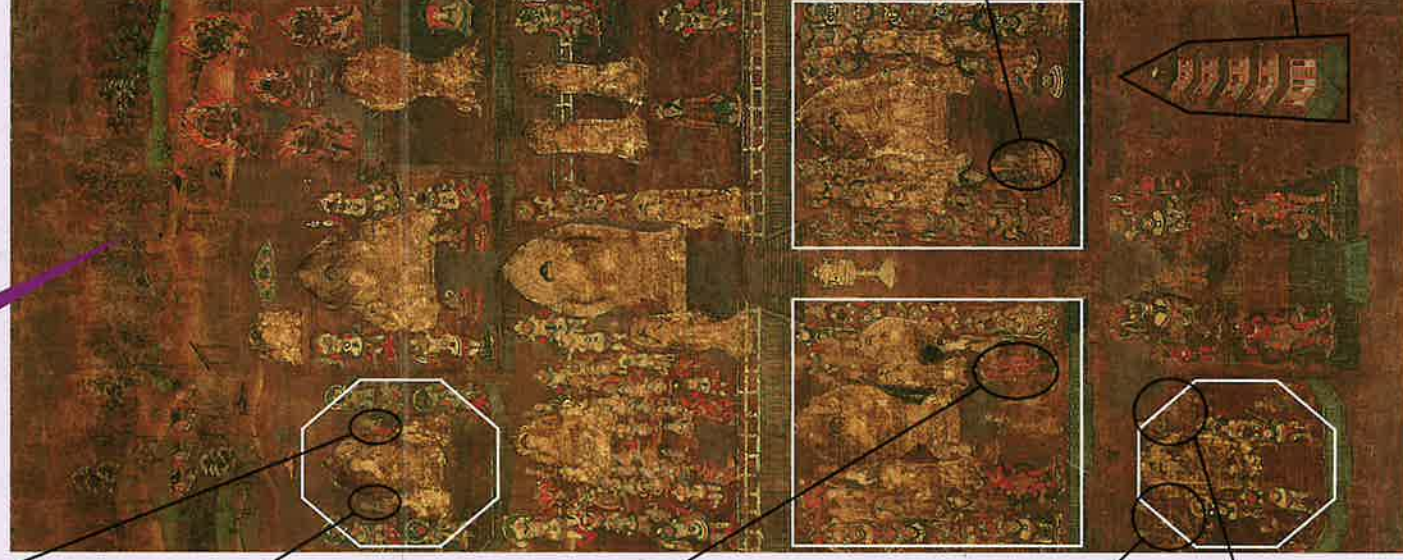
天平時代の興福寺僧。生前の徳が高く、桓武天皇の皇子に生まれ変わったと伝えられています(『日本靈異記』)。



遣唐使です

行
貴

752年に唐へ渡り、約30年間唯識¹を学んで最新の成果を手にも帰しました。



興福寺曼荼羅図附図

黙然…



東
金
堂

維摩居士坐像

定慶⁴作 国宝

在家でありながら仏教の知識に優れ、“知恵の仏”文殊菩薩など釈迦の弟子たちをつぎつぎと論破しました。



五
重
塔

五重塔

興福寺の南、猿沢池から見上げる五重塔はまた絶景です。

(※1) 唯識 あらゆるものはただ心のあらわれにすぎない、という仏教の世界観

(※2) 法相宗 唯識を教義とする興福寺の宗派

(※3) 康慶 運慶の異父

(※4) 定慶 康慶の兄弟弟子

興福寺復興期のみほとけ
 一八〇(治承四)年、源平合戦幕開けの年。
 奈良を代表する大寺院のひとつ興福寺は、平重衡に焼き討ちされ全焼しました。
 しかし、この激動の時代のなかで始まった復興事業は、
 運慶たち偉大な仏師による名作の数々を生み出し、
 日本のルネサンスともいうべき大きな運動となったのです。
 本展覧会では、この鎌倉時代の精神が結実した傑作の数々を、
 興福寺および各地の寺社、博物館が所蔵する百十二点で紹介します。

興福寺国宝展

一鎌倉復興期のみほとけ一

2005年4月12日(火)

会期中無休 5月22日(日)

[開館時間] 9:00-17:00(入館は開館時間の30分前まで)
 9:00-20:00 ※4/29(金)~5/5(木)のみ
 [観覧料] 一般1200円(1000円) 学生1000円(800円)
 ()内は前売りおよび20名以上の団体料金
 18歳以下、70歳以上の方、および高等学校、盲・聾・養育学校に在籍の方は無料
 [主催] 山口県立美術館 / 法相宗大本山興福寺 /
 朝日新聞社 / **WAVE** / **WAVE JOURNAL**
 [後援] 文化庁 / 奈良文化財研究所 / 奈良県 / 奈良県教育委員会 /
LEADER / **TRAVELER**
 [協賛] **ニッセイ** / **同和損害保険** / **凸版印刷株式会社** / **三井物産** /
セゾングループ / **中国信託株式会社** / **山口県立**
エヌエス / **株式会社エーエス** / 専修館 松栄堂
 [協力] 盛力 / **紅白社** / **ICCA**
 興福寺展サイト <http://www.yma-p.jp>



興福寺国宝展サイト

左のバーコードを携帯電話の対応機種で読み取るだけで、興福寺国宝展サイトにアクセス。
 ※傷、汚れ、破損、光の反射などによって読み取れない場合があります。

興福寺国宝展

鎌倉復興期のみほとけ

講演会

「興福寺鎌倉復興期のみほとけ」

興福寺の鎌倉復興で活躍した人々のドラマと仏像の魅力のお話です。
 [講師] 藤岡 穰 (大阪大学助教授)
 [日時] 4月24日(日) 14:00~ [会場] 美術館講座室(無料)

「南都炎上からの鎌倉復興」

興福寺が戦災から復興し、再び中世の栄華を手にした背景とは。
 [講師] 安田次郎 (お茶の水女子大学教授)
 [日時] 5月8日(日) 14:00~ [会場] 美術館講座室(無料)

ワークショップ

「和装本をつくらう」

展覧会で日記や文書を見学した後、飾りとじのノートを制作します。
 [講師] 山口智子 (手作り絵本の会)
 入門編 [日時] 4月23日(土) 13:00~16:00 [対象] 小学校5年生~中学生
 上級編 [日時] 5月15日(日) 10:00~16:00 [対象] 高校生以上
 [定員] 各編20名(先着順) [費用] 材料などの実費

「親子で楽しむ興福寺展」

康慶・運慶親子のように協力してゲームをしながら、鎌倉時代にタイムスリップ!
 [日時] 4月24日(日)、5月8日(日) 10:00~11:00 [対象] 小学生以下
 [定員] 各回こども10名+保護者(先着順)
 [参加費] 保護者の方のみ展覧会の観覧券が必要です。

託児サービス

ちびっこルーム(定員制・要予約)

会期中毎週木曜日(10:00~13:00)に無料の臨時託児所を用意します。
 利用する週の月曜日までに電話またはE-mailでお申し込みください。

ワークショップの申込方法

官製の往復はがきかE-mailに、

①ワークショップ名②参加希望日③住所④氏名⑤年齢⑥職業⑦電話番号
 をご記入の上、お申し込みください。

[ワークショップ・託児サービスのお申し込み・お問い合わせ先]
 〒753-0089 山口市龜山町3-1 山口県立美術館普及課
 tel.083-925-7788 E-mail a50702@pref.yamaguchi.lg.jp

学芸員によるギャラリートーク

4月17日、5月1日、15日、22日 各日曜日11:00~

品茶

国宝鑑賞の余韻にひたりながら、気軽にお抹茶をお楽しみください。

[日時] 会期中の月・木 10:00~16:00 [会場] 美術館ロビー
 [料金] 一服500円(お菓子付)

[協力] 月曜日・表千家同門会山口地区

木曜日:(社)茶道裏千家淡交会山口支部

一乗院御門流古式立華

山口県に伝えられた興福寺ゆかりの華道をぜひご覧ください。
 [日時] 4月12日~18日、5月1日~7日 [会場] 美術館ロビー

ゴールデンウィーク特別夜間開館

4月29日(金)~5月5日(木)は20:00まで開館いたします。(入館は19:30まで)

特別鑑賞会「運慶の夕べ」 18:00~(特別夜間開館中)

夜の美術館を学芸員とともに楽しみください。

■会期中、一部展示替えがあります。

詳しくは美術館にお問い合わせください。

[前期] 4月12日(火)~5月2日(月) [後期] 5月3日(火)~5月22日(日)

2005-2006

特別展

schedule

山口県立美術館 平成17年度年間スケジュール

常設展

追悼 松田正平 萩の茶陶 植木茂

4/10

4/12

興福寺国宝展特別展示

「萩の茶陶」

「秘仏公開

—山陽小野田市 岩崎寺・正法寺の仏像—

5/22

4/12~5/22

興福寺国宝展

鎌倉復興期のまほとけ

5/23~2006/3

休館
(空調設備改修工事のため)

(予定)

9/23~10/10

第9回やまぐち県民文化祭

第59回山口県美術展覧会

会場:下関市立美術館

5/23~2006/3

休館
(空調設備改修工事のため)

Information

■休館日

4月4日

4月11日

5月23日~2006年3月

■閉館時間

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

■料金

常設展:一般190(160)円 学生120(100)円

()内は20名以上の団体料金

特別展:別途に定めた料金

常設展:特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、

盲・聾・養護学校に在学する方等は無料。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural
Museum of Art

〒753-0089

山口市龜山町3-1

TEL:083-925-7788

FAX:083-925-7790

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi>

